



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会

会長 松谷 一夫

仙台市青葉区大町1-2-2

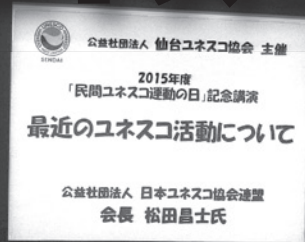
電話 022-224-2581

FAX 022-302-3406

民間ユネスコ発祥の地（仙台）での

民間ユネスコ運動の日

記念講演・ 交流会開催



■記念講演■
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
松田 昌士 会長

世界初の民間ユネスコ運動発祥の地・仙台ユネスコ協力會が発足してから今年で68年となり、「7月19日・民間ユネスコ運動の日」の設立記念日には全国各地で催しが行われます。（次頁へつづく）

EVENT DATA

- 仙台ユネスコ協会
「民間ユネスコ運動の日」
記念講演・交流会
- 2015年7月18日(土)
- 仙台メディアテーク

これからの行事



ユネスコカレッジ講座

～奈良・平安時代に学ぶ
仙台文学館講演と仙台・多賀城・塩釜の
歴史と史跡の古代ろまんを研修
■2015年10月21日(水)～22日(木)

せんだい地球フェスタ

■2015年10月25日(日) ■仙台国際センター展示棟

ユネスコスクール東北大会・宮城県大会

■2015年10月30日(日) ■宮城教育大学

山形県立楯岡高等学校

1年生 40名当会館訪問

■2015年11月12日(木)



青年部主催 留学生交流会

- 2015年12月20日(日)
- 仙台国際センター 研修室



第18回「絵で伝えよう！ わたしの町のたからもの」絵画展

- 2016年1月5日(木)～10日(火)
- 東北電力グリーンプラザ

第102回日本エスペラント大会

(後援：仙台ユネスコ協会)
講演：中島美樹子事務局長
演題：仙台ユネスコ協会とエスペラント
■2015年10月11日(日)
■仙台市民会館

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年（昭和22年）7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力會」として誕生しました。



民間ユネスコ運動の日

SENDAI

特別講演 最近のユネスコ活動について



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟
松田 昌士 会長



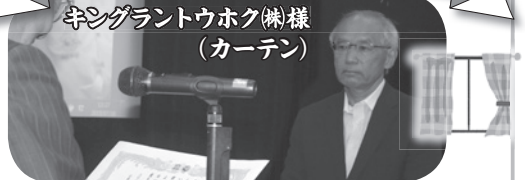
最近のユネスコ活動について
公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
会長 松田昌士氏



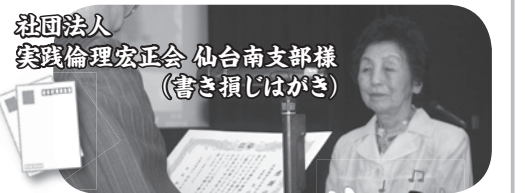
(公社)仙台ユネスコ協会
会長
松谷 一夫氏



ありがとうございます 感謝状贈呈



キングラントウホク様
(カーテン)



社団法人
実践倫理宏正会 仙台南支部様
(書き損じはがき)

滝田知子様 (ピアノ)



仙台ユネスコ協会は7月18日、仙台メディアテークにおいて「民間ユネスコ運動の日」記念講演・交流会を会員、青年部そして一般の方々合わせて約145名の参加のもと開催しました。

はじめにユネスコ会員綱領の唱和とユネスコの歌「手に手をとって」を斉唱。開会にあたり松谷一夫会長から本日の記念講演のために、ご来仙頂いた公益社団法人日本ユネスコ協会連盟松田会長に御礼のご挨拶がありました。先日の新聞に仙台空襲で焼け野原の写真の掲載に触れ、仙台ユネスコ協会の初代事務局長の上田康一氏（外務省東北終戦連絡事務局連絡官・仙台出身）が、「戦争は人の心で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」というユネスコ理念に賛同したことがきっかけでした。それから、仙台に民間ユネスコ運動がはじまり、仙台が民間ユネスコ活動の発祥の地となった経緯の説明がありました。

来賓の方々の紹介に引き続き、仙台ユネスコ協会の活動に功労のあった3名の方々に感謝状の贈呈を行いました。ピアノを寄贈された滝田知子様、カーテンを寄贈されたキングラントウホク様、世界寺子屋運動の貢献として社団法人実践倫理宏正会仙台南支部様の個人・団体です。

次に「最近のユネスコ活動について」と題した日本ユネスコ協会連盟松田会長の講演では冒頭、日本ユネスコ協会連盟の寺尾事務局長の急逝に哀悼の意を表され、また松田会長の家系は宮城県と縁の深いお話や学生時代からユネスコ活動に参加されていたことなど親しみ溢れるお話がありました。

そして、ユネスコ精神、民間ユネスコの現状と問題点、その活性化のために何をすべきかなどの講話の中で、印象深い話としては“ユネスコ活動はたとえ理念が良くても具体的な活動をしなければ人はついてこないこと”ただお題目だけやるようなことはやめよう！という呼びかけと世界中の情勢がおかしくなっていることを挙げていました。ユネスコ活動の役割の重要性を痛感させられた講演でした。

最後に、青年部の及川美聡代表から、これまで行ってきた青年部の活動と本年度の活計画について、特に「第1回宮城ユネスコ子どもキャンプ」について詳しい紹介がありました。当協会の青年部は、ユネスコの第五回全国的青年連絡組織通常総会で、最優秀賞である「青年優秀賞」を受賞しています。

閉会後は、会場ロビーで交流会が行われました。

(副編集委員長 小泉知加子 記)

宮城のニュース

掲載：河北新報オンライン2015年6月12日 金曜日

宮城 社会

仙台ユネスコ会館解体へ 民間団体発祥の地

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の活動を支援する民間団体として世界で初めて設立された「仙台ユネスコ協会」の拠点、仙台ユネスコ会館（仙台市青葉区大町）が来年度、解体される見通しになったことが11日、分かった。築58年と老朽化が進み、所有者の仙台市が耐震性に問題があると判断した。協会は退去することになり、移転先の確保に苦慮している。

会館は鉄筋コンクリート3階、地下1階。協会が1957年、仙台出身の詩人土井晩翠（1871～1952年）が晩年を過ごした晩翠草堂がある敷地の一部の土地を相続人から借りて建設した。

草堂の土地や建物をめぐっては別の相続人と協会、市の間で争いが起き、83年に市が土地を購入することで和解。協会は市に借地料を払う必要が生じたが、資力がないため84年に会館を市に寄付し、無償で市から借りて使用してきた。

東日本大震災を受け、市が2014年度に耐震診断したところ、コンクリートの強度不足が発覚。隣接する晩翠草堂を訪れる観光客の安全性なども考慮し、解体する方針を決めた。

協会は「確かに建物は老朽化し、危険な状態だ」と解体を受け入れる考えだが、資金面の問題から移転先探しは難航している。松谷一夫会長は「現在の会館も市民の寄付金で建設させていただいた。今回も寄付をお願いできないかをこれから検討し、呼び掛けていきたい」と語る。

仙台ユネスコ協会は戦後間もない1947年に設立。日本の国連加盟（56年）よりも早かった。世界初の設立だったことで仙台は民間ユネスコ運動の発祥の地ともされる。協会の会員は現在、約250人。地元文化遺産をテーマにした生涯教育や留学生との国際交流活動を実施しているほか、書道やバレエなど会館を貸し出して各種文化講座を開いている。



晩翠草堂（左）の敷地の一角にある仙台ユネスコ会館

拡大写真



拡大写真

仙台ユネスコ会館 解体の記事

ユネスコの歴史に感心

仙台市青葉区片平丁小児童会館解体惜しむ

仙台市青葉区片平丁小児童会館が、来春解体される同区の仙台室や図書室もある本を讀んで、ユネスコ会館を訪れ、半世紀以上に及ぶ歴史を学んだ。仙台は民間ユネスコ運動の発祥の地といわれる。松谷一夫会長は「価値ある歴史を知ってもらい、後世に伝えてほしい」と話した。会館は東日本大震災後の耐震診断で強度不足が判明。解体は決まったが、移転先は未定となっている。



会館を見学し、協会の多彩な活動を学ぶ子どもたち

掲載：河北新報2015年9月3日 木曜日

2015東北ブロック・ユネスコ活動研究会 秋田大会に参加して



■7月25日(土)～26日(日)会場：メトロポリタン秋田
■テーマ：伝えよう、育てよう、ユネスコの心
～ESDのさらなる推進のために～

開会式の後、特別講演では国際教養大学学長鈴木典比古先生による「グローバル教育財の生産」についての講話がありました。大学教育によって仕上げられた人材を教育財と定義づけ、教育財が今やグローバル化した世界で海外留学等、国際的流動性を高めることに寄与しており、日本の大学の戦略として国際教養大学の役割についての考えを披露されました。

基調講演では公益社団法人日本ユネスコ協会連盟副理事長の鈴木佑司先生による「2015年以降のESDと地域ユネスコ活動」をテーマとした講話がありました。

人の心の中に「平和の砦」を築くことを実現するためには教育現場でのユネスコ理念の「学習」が不可欠でユネスコスクールを広げることの大切さを説かれましたが、十分に成果が上がっておらず、まだまだ学校への浸透していないなど今後の普及活動の在り方についての講話でした。

引き続き、パネルディスカッションでは、仙台ユネスコ協会パネ

リストとして仙台から、加藤幸子さん、その他岩手、酒田から参加がありました。コーディネーターは日本ユネスコ協会連盟副理事長鈴木佑司さんでした。ESDという継続テーマ（10年後）に、各協会はさらなる推進を探りながら前進する後継者の育成が一番大切であると話しておられました。

夜の交流会は西馬音内盆踊りで始まり、東北の身近な方々とのふれ合いに話が弾みました。地場産品の食、おもてなしの心を出しておりました。特に雪国と酒ということで、数十種類のお酒が並べられ飲み比べを楽しみました。

今ユネスコの課題は、高齢化とともに会員の減少であると話していました。全国共通の問題であることを再確認しました。

これから仙台ユネスコは民間ユネスコ運動創立「70周年」に向けて会員を増やし、さらなる発展を目指して前進することであり、「人の心の中に平和を」「戦争のない世界を作ろう」であります。

民間ユネスコ運動発祥の地、仙台として…。

(副会長 阿部さか江 記)



国指定重要無形民族文化財「西馬音内盆踊り」





8～9月の活動実績



●2015/8/13～15

第1回宮城ユネスコ子どもキャンプ



第1回宮城ユネスコ子どもキャンプが8月13日～15日にかけてオーエンス泉岳自然ふれあい館にて開催されました。

子ども56名、青年スタッフ34名、役員及び講師や看護師が10名程で約100名が参加しました。今回のキャンプのテーマは『みらい探検隊』。自分の未来だけでなく周りの人や自然、世界の未来も考えてほしいという願いを込めています。

主なプログラムとして、1日目は野外炊飯、2日目は国際理解を目的とした世界探検隊、ウォークラリー、キャンプファイヤー、3日目はアルバム作りを行いました。参加者ひとりひとりの頑張りにより、大きな事故もなく無事に成功させることが



出来ました。

また、キャンプは子ども達だけでなく我々青年にもいい刺激を与えてくれました。次も参加したいと笑顔で答えてくれた子ども達の為にも今回の反省を活かし来年に繋げていきたいと思っております。今回のキャンプに関わったすべての方へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

(青年部 新田潤 記)



11枚の書きそんじハガキでひとりがひと月学校に。

ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。



ポストにいれてほしいのは、みなさんが書きそんじた郵便ハガキ。送れなかった50円ハガキは1枚につき45円の募金に変えることができ、11枚あつまれば、カンボジアではひとりがひと月学校に通えます。ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。

2015年度会費納入のお願い

仙台ユネスコ協会は皆様の会費で運営されております。早期の納入をお願いいたします。

団体会員(一口) 年会費	20,000円
個人会員(一口) 年会費	5,000円

仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	108
個人会員	172
青年部会員	11
合計	291

(2015.8.31現在)

【編集委員】

委員長：千葉 雅保
 副委員長：小泉知加子 / 兼平 敏子
 委員：伊達 洋子 水上 健治
 山田 武彦 篠原 裕子
 菅原 京子 黄海富寿雄
 戸室 輝信

【編集後記】

会報「仙台ユネスコ448号」をお届けします。
 7月から9月の行事も盛り沢山。特に7月18日に「民間ユネスコ運動」記念講演交流会には日本ユネスコ協会連盟松田会長のご来仙を特集しました。今後も仙台ユネスコ協会の活動をより多くの方たちに知っていただけるように編集していきたいと思っておりますので、ご協力のほどお願いいたします。
 (副編集委員長 小泉知加子 記)

●2015/9/10

第50回 国際理解に関する弁論大会

兼 第62回「国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール」宮城県予選

■主催：宮城県高等学校国際教育研究会

■場所：聖和学園高等学校 薬師堂キャンパスサールナートホール
この毎年の高齢行事に審査委員として出席しました。県内6校から16人の学生の発表者がありました。

- ・持ち時間6分以内、原稿を見ないで発表すること
- ・国際理解、国際協力に関する内容で主張者の学習や体験あるいは実践について話すこと、など非常に条件の厳しい弁論大会であると思われました。



優勝(1位)は、仙台白百合学園 2年 武田 悠(はるか)さん
 仙ユ協会賞は、仙台二華 2年 池田 真由(まゆ)さん
 発表者全員が世界の国を歩いた体験の話でした。1位の学生は全国大会に行きます。去年1位の学生は全国4位になり、世界大会にも招待されました。

(副会長 阿部さか江 記)

●2015/9/13 ザ・デイ・アフター・ピース上映会

●2015/9/21 国際理解クッキング・ワークショップ



キャンプの後、9月13日の宮城教育大学の図書館で開催した「ザ・デイ・アフター・ピース」の上映会でした。この上映会は9月21日の国連が定めた国際平和の日を迎えるにあたって、より多くの

人に平和の日を認識してもらい、一人でも多く平和について考える人が増えて欲しいという願いから開催されました。

21日は青葉区中央市民センターにて青年を対象とした国際理解に繋げるために「国際理解クッキング」と「ワークショップ」の二つのイベントを行いました。国際理解クッキングでは中国式クレープ「煎餅果子」とイスラエル式コロッケ「ファラフェル」の2品作りしました。その国々の食文化を知ることで各国の理解を深めることが出来たかと思行いました。ワークショップではこの二か国が抱えている紛争問題を取り上げました。紛争の背景・歴史や現状について調べたり意見交換したりすることで各国の理解を深めることを目的としました。一人一人が現状を知り、平和について考える姿勢は平和に繋がる活動だと感じました。

(青年部 備前真結 記)



【編集委員】

委員長：千葉 雅保
 副委員長：小泉知加子 / 兼平 敏子
 委員：伊達 洋子 水上 健治
 山田 武彦 篠原 裕子
 菅原 京子 黄海富寿雄
 戸室 輝信

【編集後記】

会報「仙台ユネスコ448号」をお届けします。
 7月から9月の行事も盛り沢山。特に7月18日に「民間ユネスコ運動」記念講演交流会には日本ユネスコ協会連盟松田会長のご来仙を特集しました。今後も仙台ユネスコ協会の活動をより多くの方たちに知っていただけるように編集していきたいと思っておりますので、ご協力のほどお願いいたします。
 (副編集委員長 小泉知加子 記)